

民間資源回収場所における回収量等調査

資料5

調査対象年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
回収箇所数	35箇所	37箇所	42箇所

回収品目別設置箇所数(回収量)

段ボール	32箇所(1,231t)	31箇所(1,229t)	36箇所(1,266t)
古着	25箇所(363t)	26箇所(444t)	31箇所(417t)
スチール缶	5箇所(12t)	3箇所(12t)	3箇所(11t)
ガラスびん	2箇所(113t)	1箇所(124t)	1箇所(86t)
ペットボトル	1箇所(32t)	1箇所(31t)	2箇所(37t)
回収量合計①	3,456 t/年	3,473 t/年	3,464 t/年
稲沢市における資源回収量②	3,550 t	3,214 t	3,006 t
全体に占める割合①÷(①+②)	49.3%	51.9%	53.5%

※回収品目別設置箇所数は、回収量非公開の場所を抜いた数値

調査対象品目は、新聞紙、雑誌、雑がみ、段ボール、牛乳パック、古着、ガラスびん、スチール缶、アルミ缶、ペットボトル

- ・ 調査対象のうち、3箇所は回収量非公開であった。
- ・ 新聞紙、雑誌はデータ非公開分を除く39箇所すべてで回収がある。
- ・ 令和6年度中に5箇所回収場所が増加している。
- ・ 民間資源回収場所での取扱いが少ないスチール缶・小物の鉄類、ガラスびん、ペットボトル等については、引続き行政回収(分別収集)による排出機会の確保が必要となる。

※②は、集団回収、分別収集、地域ステーション及び拠点回収での回収量の合計。